

白馬八方尾根は数十の温泉施設に恵まれ、過ごすのに快適な村です。訪問者は宿泊施設の屋内浴場や、4か所の公衆天然温泉を楽しむことができます。

1875年春、白馬八方尾根の村民が白馬鑓温泉の源泉から温泉を引く工事を始めました。白馬鑓温泉は標高2,475メートルに位置し、日本で最も標高の高い温泉です。晩秋のある日、竹筒の敷設が2kmまで進んだところで、建設現場が大規模な雪崩により埋没してしまいました。21人の作業員の命が失われました。この悲劇により、プロジェクトは100年以上もの間停止していました。

1982年になり、ようやく新しい構想が立ち上がり、今度は白馬鑓温泉の直下にある泉源を掘削し、4kmの長さのパイプを敷設することに成功しました。こうして、地元民の1世紀来の願いがかなったのです。

数世紀にわたり地元民が追い求めてきた強アルカリ性のお湯は、保湿効果と若返り効果があり、日本全国屈指のものとされています。人々が一緒に集まり、八方尾根の温泉が持つ奇跡的な效能を楽しむ場所を提供するため、「和の泉」という足湯が作られました。

薬師様の温泉ミスト

薬師様は癒やしの仏様、そして温泉の守護者として崇められています。白馬八方温泉の温泉水を瓶で持ち帰り、お肌を滑らかでスベスベにしましょう。

> 瓶を棚から取り出し、石箱に200円を入れましょう。

> 癒やしの仏様の仏像へ向かい、感謝を捧げましょう。

> 足湯の右側にある湯口から、瓶にお湯を汲みましょう。

> これでお湯を肌にかけることができます。

> 5日以内に使い切ってください。温泉水は飲まないでください。